

四国 剣山（1955M）・三嶺（ミヅ1893M）・石鎚山（1982M）

2014年12月30日～2015年1月2日

メンバー：ふじ（リーダー）、井藤、磯部N（記録）、元会員1名

四国の冬山を歩いてみたい・・・と渋滞と雪を心配しながら、瀬戸内海を渡る。
年末は天気予報もよく、期待も膨らむが、年明けからは寒波がまたやってくるとの情報が入り、いくつ登れるかと不安も混じる。

12月30日（火）晴れ

美馬インターを下りて徳島県つるぎ町へ入り、R438で登山口見ノ越（みのこし）まで、細いカーブだらけの道を登っていく。

最初は、路肩だけだった雪が次第に増えてきて、1450M程の登山口へ着く頃は道路全面が雪で、わだちはあるものの凍結していて緊張した。

剣山登山口にはすでに車が10台ほど、さすがに有名な山だ。

登り始めてすぐに、神社で無事を祈願して歩を進める。

緩やかな登山道を1時間も歩けばリフトの西島駅に着く。（冬期閉鎖中）

良い天気だが、ここから樹林を抜けるので風が強くなり、そのため、きれいな樹氷ができています。

しばらく急な上りを頑張って、小屋のある稜線直下に出た。



山頂小屋が見えた！

ここから、凍てついた木道を一頑張りで、ひろーい山頂だ。



凍てついた木の階段を山頂へ

エビのしっぽがびっしり付いた看板で山頂を確認。真っ白な次郎笈がどっしりと目の前に聳え、目を転じれば明日登る予定の三嶺（みうね）も見えている。本当にきれいな景色だ。



行ってみたい真っ白な次郎笈（じろうきゅう）

下りになると風もおさまり、ゆっくりと西島駅で休憩をとった。すばらしい景色を楽しんで、下山。アイゼンは必要無かった。



西島駅で休憩 後が剣の山頂付近



雪に埋もれた標識

見ノ越からR 4 3 8を来た道とは反対に下って、三嶺の登山口まで移動する。
途中で奥祖谷（おくいや）の有名なかずら橋に寄って、ちょっとスリルのある、橋渡りを体験する。
その後、いやしの温泉郷近くの三嶺の登山口で TENT を張り、仮眠。

<タイム> 見ノ越登山口(9:35)－剣山山頂(11:45)－見ノ越(13:45)

1 2 月 3 1 日（水）晴れ

三嶺は行程が長いのでヘッドランプで出発。
あまり人が入っていないコースの為、林道脇の登山道入り口の小さなテープを暗くて見落とした。
林道終点まで進み、足跡を捜しながら歩くが道か、どうかもはっきりせず、方角だけ確認しつつ、杉林の急登に突入。

1 時間ほど迷ったが登山道を見つけた。積雪はあるが、さほどの雪の量でもなくしまっていて歩きやすい。
樹林帯を抜けて雑木の道に入ると前方が明るく開けて、快適な雪山歩きになった。



明るい雑木の道を進む



樹氷の中を気分良く歩く

アップダウンを何度か経て、ようやく稜線へ出ると、さすがに風がすごい。雪も深くなり、はまりこむので疲れる。



稜線にでた！！

避難小屋脇から稜線に出ると時折、雪煙が上がるので、対風姿勢をとりながら山頂まで50メートルほど移動。
ついに、みんなで山頂に立つ。



バンザイ・たどり着いたぞー



山頂標と四国の山々

寒くて撮影だけして下山。少し下って、りっぱな避難小屋で一休みして念のためアイゼンをつけて下り始める。

小屋脇で単独の男性登山者に会う。小屋で年越しの模様。

さくさくと順調に下り、果たして正式な登山道はどこにあったか？それを確認しつつ下りた。

道標も無く、朝の暗い中ではとても気が着かないほどの小さなテープが林道脇の木に巻いてあった。

何とか暗くなる前に車についた。その途端に雨が降り出した。危うく冷たい雨に濡れるところだった。

この後、かなりの雨が降り続いてテントも張れず、車中で夕食の鍋を作ったら酸欠となり、大あわてで窓をあけるハメになった。

また、その前にはたどり着いた道の駅で大晦日のため閉店が早く、追い出されたりのハプニングもあった。

夜はまたまた、サービスエリアで車中泊。何もかもが、なんだか楽しかった。

<タイム>

やすらぎの湯登山口(6:20)－旧造林小屋(8:39)－三嶺山頂(11:55～12:00)－避難小屋(12:46)－旧造林小屋(14:35)－登山口(15:50)

1月1日(木) 曇り時々雪

寒波襲来の予報を聞いて、なんとなく気分が乗らないまま石鎚山の登山口へ。

山頂付近は雪雲の中。それでも、ロープウェイに乗る人はいるし、ボーダーもいれば登山者もいる。

ロープウェイを下りると成就社に向けて雪の道ができていた。約 1 時間ほどをゆっくり登る。両側には樹氷が続く。

成就社に着いた。ここまで一般の人も普通の格好で登ってくる。境内は積雪が 30 センチはあるだろうか？

ここで念願の初詣をすませ、時間も無いし、予報も雪なので夜明峠まで行こうと決めて、先を急ぐ。

成就社からは入る人も減るので、道も狭くなった。雪の量も増え、風の冷たさがこたえた。

時折、凍結箇所もでてきて、登山者が次々に帰ってくる。雪も時折降るのでついに峠の下で引き返すことにした。

再び成就社にもどり、ゆっくりと詣でる。社務所でおとそと記念の杯をいただく。



今年の無事を祈願！

無事に下山して駐車場の隣の温泉で暖まった。

<タイム>

下谷駐車場＝成就山頂駅－成就社(9:39～9:50)－夜明峠直下(よあかしとうげ) (10:30)－成就山頂駅＝下谷駐車場

その後、高速道路が雪で通行止めになり、長い浜松までの帰路に突入。またまたまた、三度目の車中泊は兵庫県だった。

以上